

東日本大震災の教訓から学ぶ 一大災害からいかに生き延びるかー

津波防災の日 シンポジウム 2011

11月5日(土) 13:30 開場 14:30 開会

会 場：ニューピアホール（竹芝）

入場無料（入場は先着 400 名までとさせていただきます）

事前申込不要

主 催：内閣府（防災担当）

津波防災の日って？

今年6月、津波による被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的とする「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。

この法律の15条では、広く津波対策についての理解と関心を深めるため、11月5日を津波防災の日と定め、国及び地方公共団体は、その趣旨にふさわしい行事を実施することとされました。

*インターネットによる動画配信も！

詳細については、<http://www.bousai.go.jp/1info/tunabo2011/index.html> にてご確認ください。

津波防災の日 シンポジウム 2011

釜石東中学校からの報告

齋藤 真氏

(岩手県釜石市立釜石東中学校教諭) 15:05~15:30

東日本大震災で「釜石の奇跡」と呼ばれ、学校にいた生徒全員が生き延びることができた釜石東中学校。学校における防災教育の取り組み、発災時の体験について報告します。



基調講演

片田敏孝氏

(群馬大学大学院工学研究科
社会環境デザイン工学専攻
教授・広域首都圏防災研究
センター長)

15:30~16:20

釜石市をはじめ各地で津波防災教育に取り組んでいる片田教授による基調講演です。



“語り” 「稲むらの火」

平野啓子氏 (語り部)

14:30~15:00

過去の災害を“語り”という形で伝えている平野氏。津波防災の物語「稲むらの火」を詩情豊かに語ります。



パネルディスカッション 16:30~18:00

大災害からいかに生き延びるかについて、津波防災教育、災害教訓の伝承、避難所の生活環境改善、国民の意識の向上などの観点から考えます。

コーディネーター

国崎信江氏

(危機管理教育研究所代表、
危機管理アドバイザー)



国崎信江氏

パネリスト (50音順)

- ・片田敏孝氏
- ・齋藤 真氏
- ・林 春男氏
(京都大学防災研究所
巨大災害研究センター教授)
- ・平野啓子氏
- ・渡邊日出夫氏
(福島県
「ビッグバレットふくしま」館長)



林 春男氏

*都合によりスケジュール・出演者は変更させて頂く場合がございます。ご了承ください。

ACCESS- 交通アクセス

会場：ニューピアホール

〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-1
ニューピア竹芝ノースタワー 1F

- 東京臨海新交通ゆりかもめ 竹芝駅 >> 徒歩 2分
- JR 山手線／東京モノレール浜松町駅北口 >> 徒歩 7分
- 都営地下鉄大江戸線／都営地下鉄浅草線
大門駅 B1 出口 >> 徒歩 8分

※お車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ：内閣府「津波防災の日シンポジウム 2011」担当

電話：03-3501-6996 FAX：03-3597-9091

*当日のお問い合わせ先 電話：03-5404-4080

